

天岩戸神社：概要

天岩戸神社は、日本の神話と神道宇宙論で最も神聖で有名な神の一つである天照大神を祀っています。太陽の女神としてよく知られていますが、その名は、天を照らす大いなる神という意味です。このように、主要な女性の神であり、日本を統べる天皇の系譜の先祖でもあります。天照大神は天の高地平原を支配するために割り当てられました。したがって、彼女に捧げられた天岩戸神社が自然な環境にあり、急な山腹、太古の樹冠、そしてその下の傾斜には轟々と流れる溪谷の上に位置するのは驚くことではありません。神社の反対側の溪谷の向こう側の緑のカーテンの後ろに隠れているのは、天岩戸の洞窟です。天照大神は、若い頃、天鈿女の舞によって出てくるまで、弟への怒りでこの洞窟に隠れていました。その洞窟は見えないように隠されていますが、神社の展望台から峡谷を越えて神秘と神聖な聖域の不朽の感覚に包まれた領域を見ることができます。この場所と、神々が洞窟から抜け出す方法を考えるために集まった天安河原は、西本宮と東本宮に分かれた2つの聖域を持つ神社の保護下にあります。